

society&business Tokyo25 journal

25journal

執筆協力 編集室システムUokamura.nobuyoshi@gmail.com

一般都道250号あきる野羽村線が暫定ながら10月29日に開通する。開通となるのは都が整備を進める同250号あきる野羽村線のうち、秋川ファーマーズセンター(あきる野市二宮)付近から氷沢橋交差点までの1・2キロ。幅員は22メートルで2車線。区間内には平井川を渡る「草花大橋」が含まれる。

事業は1999(平成11)年に始まり、事業費

都道 250 号あきる野羽村線が開通



開通を待つ一般都道 250 号あきる野羽村線

約69億円を投じ、今年9月に完成した。2013(平成25)年に竣工した「草花大橋」は「完成したのに通行できない橋」としてメディアで取り上げられ、地域住民からも早期開通を望む声が多かった。

同250号あきる野羽村線の開通で、同市多西地区、東秋留地区の南北方向への交通の円滑化が図られるとともに、生活道路における歩行者などの安全確保、地域の防災性向上が期待される。

当日は14時から交通開放する。

同250号あきる野羽村線の開通で、同市多西地区、東秋留地区の南北方向への交通の円滑化が図られるとともに、生活道路における歩行者などの安全確保、地域の防災性向上が期待される。

当日は14時から交通開放する。

「秋川歌舞伎あきる野座」が公演



復活して 30 年の歴史を刻む秋川歌舞伎

都指定無形民俗文化財「秋川歌舞伎あきる野座」が10月19日、S&D秋川キララホール(あきる野市秋川)で公演を行う。あきる野市民文化祭行事の一環で、今回は「東京都文化財ウィーク2025」参加事業にもなる。

演目は「口上」、二宮はやし連の演奏、大人歌舞伎の「仮名手本忠臣蔵七段目・祇園一力茶屋の場」、子ども歌舞伎の「義経千本桜二段目・伏見稲荷鳥居の場」と続く。

秋川歌舞伎は、同市二宮に明治時代から続

いていた地芝居で昭和初期まで全盛を誇っていた二宮歌舞伎が前身。1975(昭和50)年、時代の流れで衰退した歌舞伎を地元有志が「もう一度、復活させたい」と立ち上がり、栗沢一雄座長が率いる栗沢一座の指導を得て、1992(平成4)年、河野専一さんが会長となり「二宮歌舞伎保存会」を結成した。

同年施行された学校5日制に伴い、子どもたちの健全育成と二宮歌舞伎の後継者育成を目的と、子ども歌舞伎を創設。「秋川歌舞伎あきる野座」がスタートした。

座員は現在、白檮山

誠座長以下90人。親子、親子3代、祖父母に孫という、3歳から90代までの幅広い世代が参加している。

12時30分開場、13時開演。入場無料。

会では今年2月、創立30周年記念誌「鎮守に集う・世代を超えて紡ぐこころ」を発行した。秋川歌舞伎の歴史として、二宮の芝居誕生から二宮神社と秋川歌舞伎へのかかわり、また、未来に向けての仲間の声や、座員の練習風景や舞台作りなど多くの写真を収めている。非売品。希望者に贈呈する。

問合せは、090(5789)1723 秋川歌舞伎保存会。

「米軍横田基地によるPFAS汚染」を考えるシンポジウムが9月6日、立川市内であった。市民ら150人ほどが参加



血液検査の実施、土壌汚染の基準を多摩地域のPFAS汚染でシンポ

染と被害の因果関係を明らかにしたい」と述べた。

山添参院議員は「国会でPFAS対策の新たな立法や政策を追求したい」と決意を披露。参加した立憲民主党の大河原雅子衆院議員に超党派での取り組みを呼びかけた。

会場からは、土壌汚染の基準づくりの必要性、過去の汚染実態の

調査などを求める声のほか、「汚染は公害だ」という議論が必要」との厳しい声も出た。

PFAS汚染は全国的に問題となっており、空調機器大手のダイキン工業(本社・大阪)の淀川製作所(大阪府摂津市)周辺の地下水などから基準値を大きく超えるPFASが検出された問題で、近隣住民らは年内にも、同社に対し健康調査や汚染対策などを求める公害調停を申し立てる方針だ。

見つかる!多摩のイイ品

今月のオススメ商品

多摩の特産品でギフト包装承ります作家さんの器や小物もおすすめ!

たまたまばこ

農家直納新鮮野菜

昭島、あきる野、立川、福生、瑞穂、武蔵村山から毎日届く新鮮野菜です。

酒粕クッキー

多満自慢の酒粕使用。ザクザク食感が美味しい♪可愛い缶入りなのでお土産にも◎!

秋らしい和菓子

府中の老舗 青木屋の商品他、多摩各地の和洋菓子が勢ぞろい!

多摩全域の美味しい&ステキ商品が集まるお店

JR青梅線・西武拝島線 拝島駅下車 南口より徒歩2分

営業時間:11時~20時 / 定休日 毎週水曜日 / TEL:042-519-5242

CHECK